

地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）

兵庫県立村岡高等学校

研究開発名

ちいき大好きプロジェクト

～郷土愛を育む「村岡メソッド」の開発～



# 兵庫県立村岡高等学校

■所在地■兵庫県美方郡香美町 兵庫県の北西部

■生徒数■133名（1年42名、2年38名、3年53名）令和4年12月現在

■設置学科・類型■普通科定員80名

地域アウトドアスポーツ類型（特色選抜・全国募集）普通科定員のうち40名

■おもな沿革■

1948(昭和23)年 兵庫県立農蚕高等学校定時制課程として設立認可

1962(昭和37)年 兵庫県立村岡高等学校として独立

2011(平成23)年 普通科 地域創造類型設置

2014(平成26)年 普通科 地域アウトドアスポーツ類型に改編

# 本日の発表について

- 1 事業の概要
- 2 成果
- 3 課題
- 4 今後の方向性

# ちいき大好きプロジェクト ～郷土愛を育む「村岡メソッド」の開発～

但馬地域が輩出した日本のベストロッチと言われた東井義雄。彼の「村を育てる学力」の理念は、現在の教育に通じる。本プロジェクトは、生徒が地域での学びを通して、「村(地域)を育てる学力」等を身につけるとともに、どの地域で暮らしてもふるさとを愛する、未来型人材の育成を行う。

### 村岡高校のある香美町の魅力

- 山・川・海の豊かな自然環境
- 但馬牛・マツバガニなど豊富なブランド食材
- スキー・登山など多様なアウトドアスポーツ施設

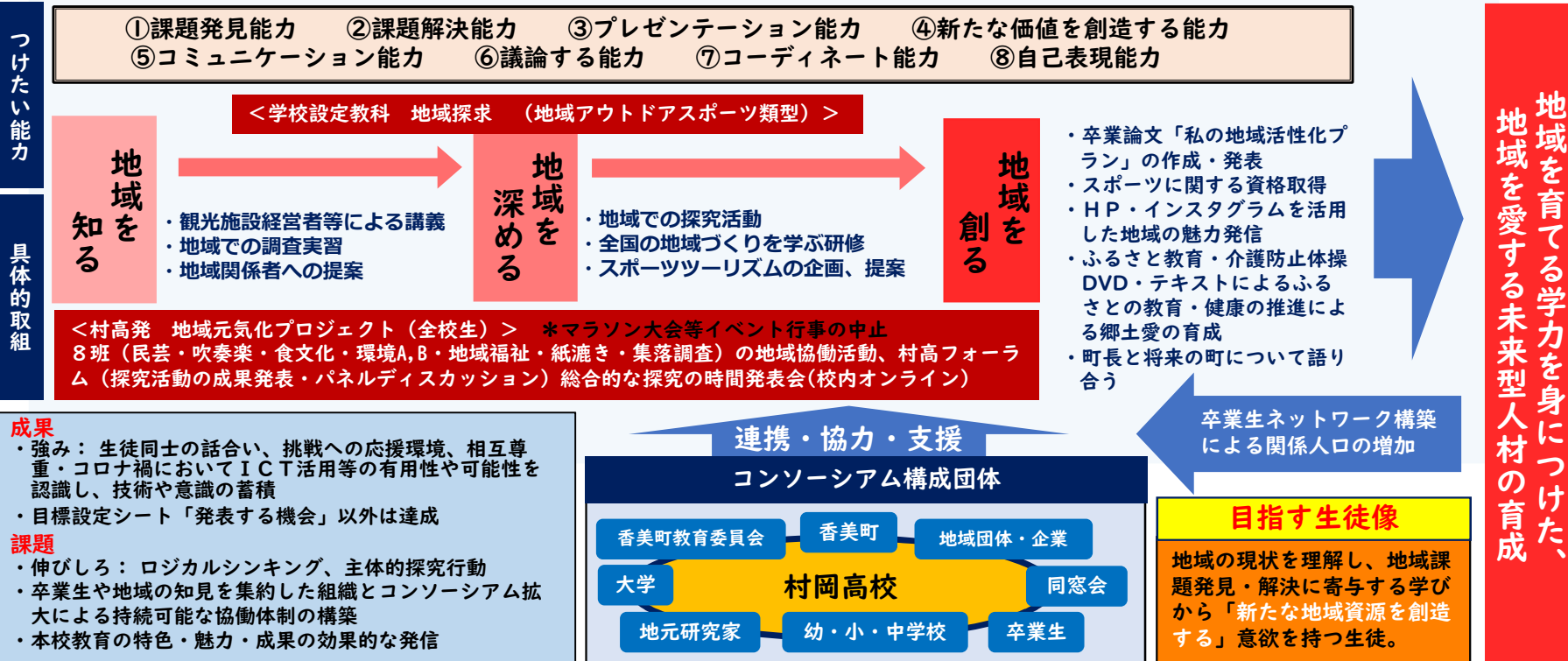
### 香美町の課題

- 若い世代の流出による人口減少の加速化と少子高齢化の進展
- 地域を支える担い手の高齢化による観光産業等の後継者問題
- 雪不足など気象変化の影響によるスキー以外の魅力づくり

### 村岡高校の目指す姿

地域を愛し、地域課題の解決に寄与する「人づくり」「地域づくり」

**<研究開発の目標>** 地域と連携、協働した実践的、体験的な取組が郷土愛を育むとともに、「人づくりネットワーク」を構築し、未来型人材を育成する「村岡メソッド」を開発する。



# 1 事業の概要

# 2 成果

# 3 課題

# 4 今後の方向性

## 研究開発の概要

地域活性の核として、高校の拠点機能を強化し、地域における「人づくりネットワーク」の構築を図る。その上で、地域課題の解決等に資する学習を官民学協働で体系的に実施し、生徒の郷土愛を育み、「地域を育てる学力」を形成する。また、本事業の評価及び卒業生の就職状況調査を分析し、その取組の具体的な検証と評価方法を開発する。

「地域を育てる学力」の形成において、

- ・ つけたい能力… 8つの能力を3つに体系化
- ・ 具体的な取組… 「地域を」知る→深める→創る

## 1 事業の概要

2 成果

3 課題

4 今後の方向性

「地域を育てる学力」とは…

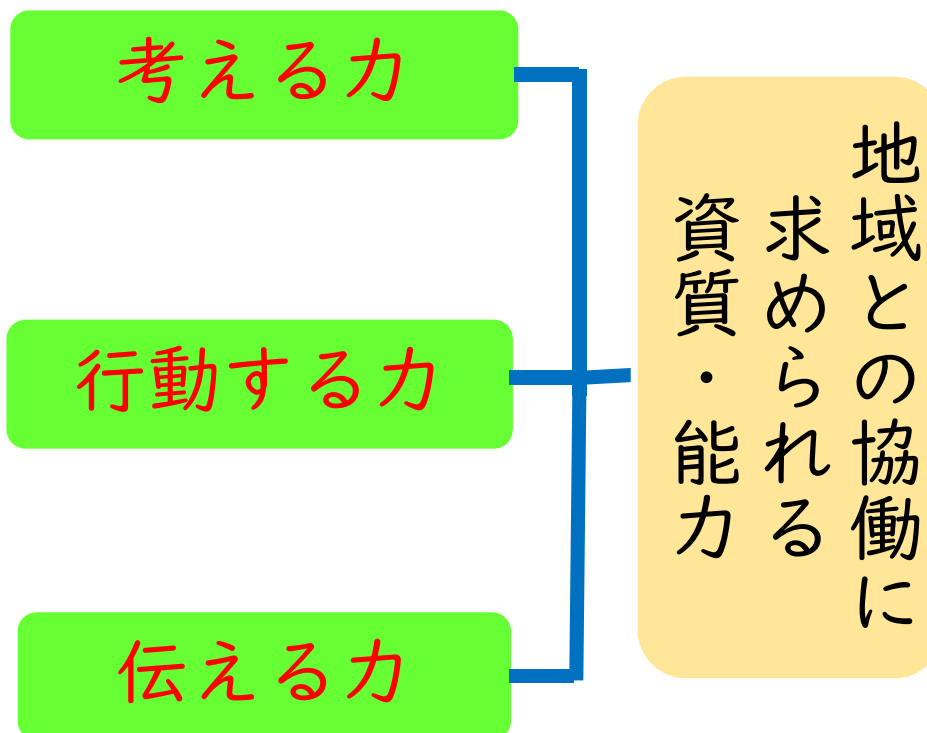
「地域を育てる学力」とは地域住民とともに地域課題を実践的に解決するプロセス（地域づくりの過程）を通して、生徒自らが地域の魅力を探し、その魅力を活用した地域課題の解決を考案し実践することで、よりよい未来の創出に資する活動を展開することができる学力。

「地域を育てる学力」は将来にわたって自ら主体的に地域のポテンシャルを見いだし、地域活性化に協働・参画する資質・能力として具現化されるものであり、生徒が希望する多様な進路にも対応するものである。

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

つけたい能力… 8つの能力を3つに体系化

- ・ 課題発見能力
- ・ 課題解決能力
- ・ 新たな価値を創造する能力
  
- ・ コミュニケーション能力
- ・ コーディネート能力
- ・ 議論する能力
  
- ・ プレゼンテーション能力
- ・ 自己表現能力



1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

地域アウトドアスポーツ類型 学校設定教科「地域探求」（各1単位）

1年生  
地域を知る

2年生  
地域を深める

3年生  
地域を創る

地域創造系

「地域学入門」

「地域探求Ⅰ」

「地域探求Ⅱ」

アウトドアスポーツ系

「地域学入門」

「地域スポーツⅠ」

「地域スポーツⅡ」

鳥取大学をはじめとするコンソーシアム構成団体との協働



1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

アウトドアスポーツ系      学校設定教科「総合スポーツ学」

2 学年	3 学年	内容
冒険教育Ⅰ (2 単位)	冒険教育Ⅱ (2 単位)	キャンプインストラクター資格の取得を目指し、講義・実習を行う。
生涯スポーツ探究Ⅰ (1 単位)	生涯スポーツ探究Ⅱ (1 単位)	地域の自然を活かして、ゴルフ・スキーの実習を中心に行う。
スポーツ実践Ⅰ (1 単位)	スポーツ実践Ⅱ (1 単位)	体カトレーニング、スポーツにおけるリーダー（指導者）となるための理論と実習を行う。

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

地域創造系の探究活動（地域探求Ⅰ・Ⅱ）

- ① 1年後半にワークショップを行い、探究テーマを設定する。
- ② 大学の教員の専門性や地域課題・要望を考慮し決定する。

平成29年度入学生「ふるさと教育教材開発プロジェクト」  
ふるさと教育教材用ゲーム開発 「ものしり博士カルタ」  
「アユの人生ゲーム」「ヴィレ盤：村づくりゲーム」

平成30年度入学生「石碑(石造物)を巡る香美の旅」  
香美町内にある石碑(石造物)を紹介する動画作成・配信

令和2年度入学生「『ヒト・モノ・コト』売り出し大作戦」  
マーケティング理論を活用し、香美町の知られざる「ヒト・モノ・コト」の魅力を発見し、町内外へ発信し、経済効果および関係人口の増加を目指す。

令和3年度入学生「食でつなぐ人と地域」  
SDGsによる持続可能な社会の実現に向けて  
令和4年度入学生 探究テーマ3月決定予定



石碑(石造物)を巡る香美の旅  
~動画(DVD)作成~

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

鳥取大学との高大連携

アドバイザー	科目	テーマ
【国際地域文化コース 講師】	地域学入門(地域創造系1年)	国際的・芸術的・文化的アプローチ
【人間形成コース 准教授】	地域探求 I (地域創造系2年)	「食でつなぐ人と地域」 ～SDGsによる持続可能社会を目指して～
【地域創造コース 准教授】	地域探求 II (地域創造系3年)	マーケティングを活用した地域づくり 「『ヒト・モノ・コト』売り出し大作戦」
【人間形成コース 准教授】	地域スポーツ I・II (スポーツ系2,3年)	健康づくりと地域活性(2年) スポーツ観光と地域活性(3年)
講師	授業名	内容
【人間形成コース 准教授】	総合的な探究の時間(発表会)	助言(評価と課題・展望について)
【農学部 教授】	総合的な探究の時間(環境B班)	「森の健康診断」(人工林の調査)
【地域創造コース 教授】	総合的な探究の時間(集落調査班)	「集落の魅力発見プロジェクト」 (小規模集落ガイドブックづくり)

「地域創造教育サポーター」の設置:鳥取大学地域学部の学生に委嘱

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

「村高発☆地域元気化プロジェクト」3つの特徴

■ 学年縦割で大学・行政・地域人材と協働した活動を各班で展開

■ 全校生が地域イベントのスタッフとして参加

■ 活動成果を全校生や地域へ発表（村高フォーラム、探究発表会）

協働のまちづくり（1学年）、総合的な探究の時間（2・3学年）

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

「村高発☆地域元気化プロジェクト」活動内容

活動グループ名	活 動 内 容
民芸班	踊りと太鼓の出前演舞活動 高齢者ver.創作
吹奏楽班	出前コンサート活動、近隣小学校へ出前レッスン活動
食文化班	村岡食材研究、商品開発
環境A班	「棚田保全」「水田の土壌調査」
環境B班	「森の健康診断」「木の駅プロジェクト」
地域福祉班	聞き取り調査し支援策を検討・実践活動/冬季：村高除雪隊 「いそっ子教室」「花の定期便」「困りごと聞き取り調査」
紙漉き班	射添紙復活プロジェクト／「小学校授業スタッフ」 地域マラソン大会賞状作成・商品開発「和雲」
集落調査班	集落の魅力を発信するための集落調査活動 「集落ガイドブック」作成

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

「村高発☆地域元気化プロジェクト」講師・協力者

活動グループ名	講師・協力者
民芸班	香美町商工会・地元のまつり実行委員会・地域マラソン大会実行委員会
吹奏楽班	近隣小中学校・老人ホーム
食文化班	地元料理家
環境A班	棚田保全地域団体「武勇田」・小代地域局・鳥取大学農学部・板仕野区長・但馬県民局豊岡土地改良センター
環境B班	鳥取大学農学部・香美町農林水産課・北但西部森林組合
地域福祉班	香美町教育委員会生涯学習課・村岡区社会福祉協議会・香美町福祉課
紙漉き班	元香美町地域おこし協力隊
集落調査班	鳥取大学地域学部・村岡地域局・各集落区長

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

3年間のおもな成果

## 人づくりネットワークの構築

- ・ 「高校魅力化推進委員会」の開催
- ・ 卒業生とのネットワーク  
「ヒーローインタビュー」の開催
- ・ 地域活性を促すツール（成果物）の作成と活用



1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

地域活性を促すツール

村高元気体操の考案→DVD作成→香美町全域に普及させる取組



## 村高元気体操 参加者の声

地域の高齢者の為にこんなのを考えてくれて嬉しい。

若い子たちが映ってるDVDで毎週体操できるのを楽しみにしています。

若いパワーをもらいながら、できる限り元気でいられるよう頑張ろうと思いました。



1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

地域活性を促すツール

生徒にとって目に見える「成果物」

→評価ができる

生徒にとっては

- ・達成感を高められる
- ・自己有用感をもつことができる
- ・発信力を高められる

などの効果がある

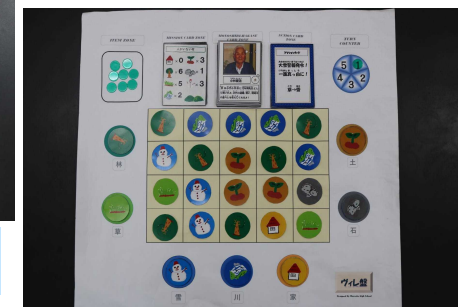


アユの人生ゲーム



ものしり博士カルタ

ふるさと教育教材



村づくりゲーム

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

「高校魅力化評価システム」による評価検証

(全校生対象) 回答者数 117名

1 本校の成果目標の設定項目の結果を見る

2 下記の5側面を対象に結果を見る

- ① 学習活動      ② 学習環境
- ③ 生徒の自己認識      ④ 生徒の行動実績
- ⑤ ウェルビーイング

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

「高校魅力化評価システム」2022年10月調査（2020年10月調査との比較）

## 本構想において実現する成果目標の設定【アウトカム】

	2020年度	2022年度	増減
地域をよくするために、地域の問題に関わりたいと思う生徒の割合	75.0%	76.1%	+1.1pt
高校卒業後、いずれは地元で働きたいと希望する生徒の割合	56.1%	60.7%	+4.6pt
高校卒業後、地元で貢献したいと思う生徒の割合	76.8%	82.9%	+6.1pt

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

「高校魅力化評価システム」2022年10月調査      【本校の強み】

① 学習活動

グループで協力しながら学習や調べものを行う      93.2%

② 学習環境

挑戦する人に対して、応援する雰囲気がある      93.2%

③ 生徒の自己認識

自分とは異なる意見や価値を尊重することができる      89.7%

④ 生徒の行動実績

授業で分からないことを、自分から質問したり、分かる人に聞いたりした      82.9%

⑤ ウェルビーイング

この学校に入ってよかったと思う      94.0%

- 1 事業の概要
- 2 成果
- 3 課題
- 4 今後の方向性

## 「地域との協働」における本校の課題（1）

### 【課題】

地域（香美町）における村岡高校の認知度は高いが、中学生や保護者に地域協働活動の教育効果（取組が進路につながることの意義）をさらに伝える必要がある。

### 【課題解決に向けて】

本指定事業で取り組んできたことがスクール・ミッションやスクール・ポリシーの策定につながった。地元の幼小中学校との連携・協働をより密にし、この取組への理解を深めてもらいながら、本校の魅力・特色をさらに発信していく。

- 1 事業の概要
- 2 成果
- 3 **課題**
- 4 今後の方向性

「地域との協働」における本校の課題（2）

### 【課題】

「人づくり・地域づくり」を目指した官民学協働のネットワークづくりにあたり、卒業生（地域の若者）との協働など新たな取組も進めているが、本指定事業終了後の自走のためには、官民学協働のネットワークづくりのさらなる促進が不可欠である。

### 【課題解決に向けて】

学校と地域をつなぐプラットフォームの構築が必要である。香美町や有識者と検討中である。

1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

本校のスクール・ミッション、スクール・ポリシーと「地域を育てる力」

「人みな使命あり」の理念のもと、課題発見・解決能力、プレゼンテーション能力、新たな価値を創造する能力、コミュニケーション能力、議論する能力、コーディネート能力、自己表現能力を備え、創造的に地域と協働することのできる人材を育成する。

課題発見・解決能力、新たな価値を創造する能力

→考える力

コミュニケーション能力、議論する能力、コーディネート能力

→行動する力

プレゼンテーション能力、自己表現能力

→伝える力

\*スクール・ポリシーは本校ホームページをご参照ください。

- 1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

本指定事業終了後の展望（1）

「地域づくり・人づくり」をとおして、創造的に地域と協働することの人材育成をさらに進める。

ア 地域と連携した協働性のある学び

イ 全国募集を活用した多様性のある学び

ウ 地方小規模校の特性を活かした主体性を伸ばす学び

➡高校は「協働のまちづくり」の拠点。

「未来社会を創造していく」ための身近な実践の場。

そのために「主体的な課題解決能力」を身につける。



- 1 事業の概要      2 成果      3 課題      4 今後の方向性

本指定事業終了後の展望（2）

官民学一体となった地域プラットフォーム設立を目指す。

ア 高校を卒業した若者の学びの共同体

イ 小中高の「ふるさと教育」コーディネーター

ウ 地域を担う人材の確保・登録・育成

➡高校を核とした官民学連携による「地域を育てる学力」の構築。